



號十四第 月一年六十和昭 行發日十 行發日五・回一月毎 錢五金部一價定誌本 錢拾六金(共稅)年一 一才 田杉 一ノ七西座鎮區橋京市京東 社信通盟同 所行發

年頭の辭

社長 古野伊之助

こゝに諸君と共に皇紀二千六百一年の新春を迎へるに當つて一言所感を申述べる。願れば過ぎ去つた昭和十五年は日本の歴史に一大轉換期を劃した年であつた。同時に又世界の歴史に一新紀元を劃した年であつた。

東亞においては昨年三月における支那の中央政府の成立、ついで日支國交の調整、日滿支樞軸の結成、皇軍の佛印進駐等東亞新秩序の基礎的工作が一步一歩進められたのである。

歐洲においては昨年四月、スカンディナヴィアの一角に戦火が燃え上るや、ドイツの電撃的作戦によつてノルウェー、オランダ、デンマーク、ルクセンブルグ、フランス等脆くも崩潰し、イタリヤの作戦によつて東地中海を繞り、或はバルカン、近東、アフリカ等に戦局は擴大し、しかも獨逸の壓倒的攻勢はよく歐洲新秩序建設の巨歩を踏み出したのである。

かくの如くして東亞と歐洲とにおいて、世界の現状を打破し、新しき秩序を建設せんとする日獨伊同盟は更に相互の協力提携を強化せんがために生れたのである。しかるに一方アメリカは建國以來の

傳統を破つてルーズヴェルト大統領を三選し、この東亞と歐洲における新秩序建設の努力に對し徹底的な妨害を加へようとしてゐるのである。即ち蔣介石政権に對する援助を強化し、英國のドイツに對する最後の抗戦を徹底的に支持しつゝある。

る。しかのみならず中央の意圖を全國各地方に遺憾なく徹底せしめると同時に、全國各地方の實情を中央に正しく反映せしめる任務も又、わが同盟同人に課せられたる對内的使命なのである。

の前途に或は外部的に或は内部的に幾多の難關、困難、妨害が層々と横はるのを見出すのである。この情勢を思ふ時、わが日本國民は上下心を一にして内外空前の危局を突破し、東亞人の東亞を建設する聖業に一路邁進しなければならぬ。かゝる時、わが國を代表して全世界に向つて日本を語るべき使命を擔ふ我ら同盟同志三千の双肩にかゝる責任の愈々重大なるを痛感せざるを得ないのである。この世界變局に直面して世界各國の動向を正しく、日本國民に傳へると同時に、日本の眞意を世界の隅々に徹底せしめる仕事は、實にわが同盟に課せられたる對外使命である。

かゝる目まぐるしき世界的變局の間に、我が日本國民は歴史に輝く二千六百年を迎へて、萬邦に比類なき國體を謳歌し、この光輝ある日本國土に生を享けた感激を新にして一億一心、職分奉公、萬民翼賛の新體制を確立して天壤無窮の皇運を扶翼するの決意を愈々強固にしたのである。

しかしながら、支那事變は未だ終結したわけではないのであつて蔣政権は單なる一地方政権に頓落して瀕死の状態を續けて居るもの、その背後に存在する力は蔣介石政権の弱體化が暴露せらるゝにつれて愈々表面に躍り出やうとして居るのである。歐洲の戦亂又同様、ドイツの英本土上陸作戦未だ行はれず、英國は尙執拗に抗戦を續けてゐる現状である。

かゝる世界の情勢を省察するに本昭和十六年においても、わが國

の前途に或は外部的に或は内部的に幾多の難關、困難、妨害が層々と横はるのを見出すのである。この情勢を思ふ時、わが日本國民は上下心を一にして内外空前の危局を突破し、東亞人の東亞を建設する聖業に一路邁進しなければならぬ。かゝる時、わが國を代表して全世界に向つて日本を語るべき使命を擔ふ我ら同盟同志三千の双肩にかゝる責任の愈々重大なるを痛感せざるを得ないのである。この世界變局に直面して世界各國の動向を正しく、日本國民に傳へると同時に、日本の眞意を世界の隅々に徹底せしめる仕事は、實にわが同盟に課せられたる對外使命である。

祝辭

聖代昭和の御代第十六次の春立つに當り遂かに同盟通信社及び同人諸君に深甚の敬意を表す。

世界新秩序建設の歴史的階梯を進むべき年頭に際し吾人滿洲國通信社社員一同また自ら決意を新たにせんことを誓ふ。冀くば諸君の舊年に遷らざる協力を得て皇國の聖業彌々躍進せんことを。 茲に謹んで祝辭を呈し諸君の御健闘を切に祈念す。

滿洲國通信社 社長 森田 久 昭和十六年元旦

の各國並に中南米の各國から頻々としてニュースの受信方を申込みつつある現状にある。かくの如く社業が躍進又躍進の段階を辿り得て、今日創業當初に比して三倍乃至五倍の機構を整備し、些か報道報國の任を完ふしつゝあることを思ふにつけて、わが同盟を今日に至らしめた朝野一致、官民一體の協力に對し心から感謝する次第である。同時に三千の同志社員諸君が全國津々浦々、世界の隅々に亘つて晝夜の別なく必死の努力を續け來つた過去五年の功績に對し私は衷心から感謝の念を禁じ得ないものである。

支局拜賀式

金澤支局

皇紀二千六百一年を迎へ、金澤支局では一日午前九時、事務室に四方拜賀式を舉行、櫻局長以下全局員參列し、宮城遙拜、皇軍將兵の武運長久祈願並に戦死者の英靈に對し感謝の黙禱を捧げ、國歌齊唱、ついで櫻局長起つて年頭の所感を披瀝し、報道戰士として報道報國、正確迅速、大同結盟の精神を以て職域奉公に挺身すべきを強調し深き感銘を與へ、酒井君は一同を代表して答辭を述べ、かくて待つこと暫し、午前十時五分となるや大阪専用線スピーカを通じて、古野社長の力強い初訓示があり、一同起立裡に靜聴し熱き感銘を得た。この企ては當支局最初の試みとして大成功であつただけに強き感激を覺えしめたのである。續いて祝賀會に移り乾盃し餘興として福引その他に興を添へ、最後に皇室の彌樂と社運隆昌を祈念して櫻局長の發聲にて萬歳を三唱して式を閉つた。

福岡支局

辛巳元旦の福岡は空高く晴れ陽光燦々麗かな程の好天候、定刻支社三階の會場大國旗の前に五十餘名整列、君ヶ代合唱、東方遙拜默禱かたの如く、かくて待つ事須し親しみのある吾等の古野社長の聲堂々たる年頭の辭がスピーカから流れて來る。一語々々の力強さに滿場肅として傾聴、それが濟むと麻生支社長から支社員一同一段の一致協力的奮闘を要望して年頭の挨拶とし、寺尾氏から新年に對處すべき支社員一同の心構へについて述べ、黒木氏は支社通信事務に更に一層の清新味と發刺さを發揮すべく支社の新體制組織を提唱し、最後に一同杯を挙げ坂本氏の音頭にて天皇陛下萬歲、同盟通信社萬歲を高唱し記念撮影をして互禮會を終つた。

その他大阪支社はじめ各支社局共夫々拜賀式を舉行社長訓示を一齊に聴取した。

軍都シンガポール

前シンガポール支局長

小林 猪 四 郎

△我が國の南進は宿命

現下我が國では盛んに南進論が議論されてゐるが、我が國の南進は、よしんばそれが平和的經濟南進にせよ、將又武力南進にせよ、國家理念上、躍進途上にある我が國の宿命的發展の軌道にある事を物語るものである。然も現在は既に論議の段階を過ぎ、東亞共榮圈確立實行の秋である。殊に聖戰三年半、いつ果つともなき任重道遠の姿に活を求める地こそ南洋である。支那事變勃發以來、英米は絶えず援蔭態度を捨てず、アメリカは昨年一月通商航海條約廢棄を敢行して我が國の壓迫を露骨化し、遂に決定的段階として日獨伊三國同盟の出現に依り、今や將に太平洋上波高しの感を深くするこの逼迫する國際危機に直面し、天然資源に恵まれた南洋こそ高度國防經濟資源の生命線たる事は事明の理である。南洋の豊富な經濟資源は何れも世界各國の垂涎置く能はざる處で、大東亞新秩序建設に邁進する我が國としては當然南進すべき宿命にあると同時に支那事變處理促進への唯一の道たる事を信するのである。

△シンガポールの歴史

南洋切つての文化の中心地といつても、決して過言でないシンガポールも、今から百五、六十年前は荒涼とした島で、海賊の巢窟として航海業者を恐怖させ、海岸にはその犠牲者の骨骸が散亂してゐたといふ物騒な處所であつた。今

都市である。

△軍港シンガポール

軍港シンガポールに就いては、世界の隅々迄宣傳されてゐるので贅言を要しないと思ふが、英國が東洋における領土保全と收益保護の目的で、一千萬磅の巨費を投じて十餘年にして完成を見たのが、難攻不落を誇るシンガポール軍港である。軍港地帯は島の東北部で、商港シンガポールの都市の背後に當り、二つの飛行場を擁する長大な地域と、一帯帯水のジョホール海峡からなつてゐる。即ちセレター海軍根據地といはれてゐるのがこれである。その施設としては、十二、三年前、英國から曳航して來た浮ドックと、三年前完成された乾ドックがあり、双方五萬噸級の戰艦を收容し得るとその裝備を誇つてゐる。尤も浮ドックは相當老朽化したとの説があるが、眞偽不明である。この外乾ドック西南方五〇〇米のゴム林の中には數十の大ガソリンタンクがズラリと並んで隠蔽されて居り、最近馬來軍當局の發表に依れば、大艦隊に六ヶ月間補給し得る油を貯蔵したとの事である。勿論空爆の恐れある今日、地下タンクの設備が急造されたことは論を俟たない。この外根據地外にも軍用タンクが二ヶ所迷彩を施してゴム林の中に林立し、私設會社の地下タンクや貯蔵所等が意外の場所に発見される。飛行場としては海軍用地内に二ヶ所、即ちセレター飛行場とセンバワン飛行場で、後者は昨年中には完成の豫定であつた。この他西海岸にシンガポール飛行場があり、現在既に半軍用化してゐるシンガポールエヤポートがある。要塞としては根據地の入口のチャンギー及びシンガポール商港對岸のブラカソン・マティに重砲隊がある。鳴り

物入りで宣傳されてゐる十八吋砲はチャンギーに置かれてゐる事であらう。然しブラカソン・マティの重砲も相當の巨砲と見え、その音波は二キロ位離れてゐても家鳴り震動する。この他港の西の入口に四吋位の砲が樹間に陰見し、西海岸に面した某所に重砲陣地らしきものが嚴秘裡に築造されるなど防備に躍起となつてゐる。殊に一昨年春天津問題が悪化した時から、海岸には厚さ四吋位のトーチカを二、三百米の間隔を以て築き、昨午春は海岸に鐵條網を張り廻らし敵前上陸に備へる一方、機關重射撃の死角をなくすると共に掃射を容易ならしめるため、海岸三〇〇ヤード以内の樹木は全部伐採、海岸に突き出した亭や、海水浴場は全部破壊されてしまつた程神經過敏なのである。これがため海邊に椰子のある南洋獨特の詩的風景はシンガポールでは見られなくなつてしまつた。

△シンガポールの兵隊さん

シンガポールの兵隊の数は、平常八千と稱してゐる。尤もこの中から香港、上海、北京、天津等にも分駐してゐたから實数は少い譯である。所謂ハイランダーと稱するスコットランドの短い女の様なスカートを穿いて帽子をかむつたイキナ兵隊さんや、黒い服を着たブラックウオッチなんて云ふものもある。この他勇猛をもつて知られてゐる印度のベンジャブ兵が居る。馬來の兵隊は馬來半島のポトデイクソンにある。この中で一番仕末の悪いのが、英人の兵隊さんだ。道路脇に置いてゐた自動車がなくなつてしまつたが、兵隊が乗り逃げしてゐるに決つてゐる。泥棒はする、無銭飲食はする、パイで暴れる、喧嘩はする、仕末に負へぬ質の低劣さを暴露してゐる。尤も全部が低劣と云ふ譯ではなく、勿論中には優秀な兵隊さんもゐるであらう。一昨年九月の英獨宣戰布告を前にしてシンガポール軍は一萬六千に増兵され當時は正に軍都シンガポールを出現、如何なるホテルもバーもシネマも、白人の兵隊さん一色であつた。然し問題はこれの一萬六千の兵員の大多數である印度兵の反亂だつた。英官憲は否定の聲明を出してゐたが反亂のあつた事は事實なのである。即ち彼等は祖國印度のために喜んで殉國の血を流すために何で血を流す必要があるかといふのである。理の當然で、當時は物々しい威風凛々で印度兵を監視してゐた。これは永久に融和出來ぬ民族の相違に依るものだから、英國の如何ともし難きところであらう。蓋し、白人と有色人種、壓制者と被壓制國民、印度獨立を廻る不服從運動等幾多の割り切れぬギャップが介在する兩民族は到底一致點は見出し得ないであらう。彼等印度兵は、恐らく英國がめざして戦はせんとする日本兵と果して戦ふ事を好むであらうか。少くとも我々は共にアデア人であり有色人種でもあるのだ。この前の歐洲大戰の際シンガポールで敢行された印度兵の反亂を想起すればこの點英國の頭痛の種である。平常の演習訓練が終つた後銃器を取りあげて倉庫に入れて銃を下さなければ安心出來ない様な印度兵に實弾を持たしたら、一體どつちを向いて撃つだらうか興味しんしたるものがある。兵隊は一萬六千と稱してゐたが昨年一月頃嶺々近東及英本國へ嚴秘裡に移駐し大分減じた。然し最近又印度兵を増強したと聲明したところからすれば實数は二萬位になつてゐるかも知れない。この他空軍は一

昨年九月當時から見れば、印度及び近東方面に引あげ現在かなり手薄になつてゐる。昨年十月濠洲から増援部隊が到着したが大した有力部隊ではない。東に角洲から増援部隊が來たぞと聲明を發表しなければならぬ程、手薄であり恐はさに身内が震えてゐる譯だ。

△シンガポールの海軍

シンガポールには一隻も軍艦は居ないといへば驚くであらうが、優秀を誇る乾ドックも浮ドックもアクビしてゐる事は事實だ。大體シンガポールは香港を中心とする支那艦隊の基地とも稱すべきであるが、その支那艦隊が近東地中海方面に移動してしまつて印度洋以東に姿を見ないのが現状だ。尤も軍艦は飛行機同様に移動性があるからいつの間にか歸つて來るかも知れぬが、イタリ軍艦がある事とて仲々手は廻り切れぬだらう。そこに七つの海を持つ嘆きがあるらうとは……一千萬磅も泣いてゐる事であらう。唯イタリと獨逸海軍を見くびつて時々豪華船イアンメリーなどが姿を現はすのは知らぬが佛だ。

△シンガポールの難攻不落性

守る者は常に難攻不落を誇稱するが、攻め手に依つてはマデラインさへも苦もなく落ちた。ましては、皇軍の佛印進駐は既に大阪城の外濠を埋めたやうなもので、若しそれサイゴンに南下せぬか、シンガポール迄六三〇哩、完全に内濠を埋める事とならう。大阪城も内濠を埋められては支える事は出来なかつた。如何に不落を宣傳しても、吠える犬は恐るるに足らずとはあなたがた族のみのカチゴリーではない事を附記して置かう。

